

インドネシア公共事業省研究総局道路橋梁研究所 ジャワリ所長来日

インドネシア公共事業省研究総局道路橋梁研究所（RDCRB(IRE)）ジャワリ所長以下、3名の研究者等が、先週来日し、橋梁や構造物に関する耐震対策、モニタリング、疲労や錆の検出と防止のための実験機器やと施設の視察調査のため、当所及び関連研究所を訪問しました。

今回の訪問は、2009年に当所とRDCRB(IRE)とで締結した研究連携の覚書に基づくもので、独立行政法人（以下、(独)と記す。）土木研究所、(独)建築研究所、(独)港湾空港技術研究所の関連施設も視察するとともに、(独)防災科学技術研究所の我が国最大の実大三次元震動破壊実験施設（E-ディフェンス）を視察しました。また、本州四国連絡高速道路（株）及び阪神高速道路（株）の協力をいただき、関西地域における道路管理及び橋梁構造物などを視察しました。

日本・インドネシア両国は、地震その他の自然災害の多い国であり、それぞれの経済及び住民を守るために、本分野で互いに協力を深めていくことが期待されています。来日初日に行なわれた両研究所間の会合において、西川所長及びジャワリ所長は、来月インドネシアにおいて第5回共同ワークショップ（セミナーを含む）を開催することを再度確認しました。本ワークショップでは、第3回及び第4回のワークショップで確認された各連携テーマのロードマップ（<http://www.nilim.go.jp/english/coop/indonesia-4thws-20110603.pdf>）にしたがって研究を進めることとしています。



(国際研究推進室)